

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1931
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.25, No.2 (1931. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19310201-0177

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

は完全なりと看做されねばならぬ。

たとへ論理過程にして正確なりとするも、尙往々不完全は免れ難い。何故ならば、當該現象を生ずるの法則に就いての知識が不確定であり、又その下に之等の法則の作用する諸事情の不知が存し得るからである。天文學を除けば、この二點に於て絶對の完全を有する科學はない。たと自然科學の多くは第一の點は之を満たすが、經濟學は常にその法則が精確なる數量的表現を許さざるのみならず、第二の點も亦數學的に述べ得る程完全に確知され難い。従つて蓋然的性質及び屢推測的性質の議論を行はざるを得ない。これよりの結論は固より蓋然的推測的性質を有し、それ故に自然科學の結論の如き精確なる形態を有し得ない(Orin)。先にケアンズは經濟學の法則も進歩せる自然科學の法則も共に「傾向」を表はすに過ぎないと説いた。然も一步を進めて論ずるならば、自然科學の法則に於ては、その「傾向」の作用する力の度合を精確に數字的に言ひ得るも、經濟學其他、前提を人性の諸原理より導く學にありては、その本質上これを計量し得ない。従つて數學的表現を用ゐ得ない。従つて這般の諸科學は遂に精確科學たり得ないのであると。(Ibid. Lect. V.)

ミルに於て、多少とも明白となり來つた歴史的傾向は、ケアンズに至つて、却つて演繹的傾向に打消されるの現象を示した。若しケアンズを以て獨創力ある最後の正統派學者とするならば、正統學派の方法論は結局演繹的傾向の力説に終つたと言はなければならぬ。けれども正統學派の方法論史を論ずるは、本稿の目的ではない。私はたゞミルの方法論の史的價值の一斑を示す爲めに、ケアンズを援用せるに過ぎないのである。以上。

前號 第二十五卷 第一號 目次

◎近世初期の失業對策と就業權論 高橋誠一郎

◎貨幣數量説と貨幣本質觀との

論理的關係

萩原吉太郎

◎經濟價值論管見

永田 清

——波多野雅氏の近著「價值學說史」を讀みて——

◎景氣論に關する近刊書三

小高 泰雄

●一冊定價 金五拾錢
●半年分 金貳圓九拾錢
●一年分 金五圓四拾錢

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛

●營業に關する用件は發賣完宛

●原稿締切期日は發行の前月十日限

昭和五年一月廿一日印刷
昭和六年二月一日發行 每月一回一日發行

禁 編輯兼 江田 範 保

轉 發行所 東京市赤坂區新町五丁目四十三番地

載 印刷者 金子 鐵 五 郎
印刷所 東京市赤坂區新町五丁目四十三番地
印刷所 金子 活 版 所

發賣元 丸善株式會社三田出張所

●尙原本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所 東京芝三田 慶應義塾内 理財學會